

「先生が忙しすぎる」をあきらめないⅡ 働き方を見つめなおす Why What How

一般社団法人ライフ&ワーク 代表理事
中央教育審議会「学校における働き方改革特別部会」委員、
「質の高い教師の確保特別部会」委員

妹尾 昌俊



独立行政法人教職員支援機構

目次 みなさん、どこでひっかかっていますか？

Why なぜ忙しい日々を変える必要があるのか

What なにをしていけばよいか

How どう進めるか（合意形成、決定、フォローアップ等）

Why なぜ忙しい日々を変える必要があるのか

What なにをしていけばよいか

How どう進めるか（合意形成、決定、フォローアップ等）

ちょっとしたクイズです。

- 1) 2022年度に（ ）は
全国で約 **1万2千人**であり、
とりわけ**20代は約2.4倍**、**30代は約1.9倍**に
増えている（対2016年度）。（注1）
- 2) **約41%**の公立小学校教諭（学級担任）は
（ ）である。（注2）

校長、教頭からよく聞くお悩み

部活については、すごく生きがいになっている先生もいて、熱心に指導してくださっているんです。

その人のモチベーションを下げないようにしないといけませんし、練習量を減らしましょうとか、一部の休部などは、言い出しづらくて・・・。

部活動ガイドラインをつくった背景

なぜ、もっと練習したいという生徒（+教員）がいるのに、休養日を設定の？

1. スポーツへの参加時間が長ければ長いほど、
けがや障害になる確率は高くなることが、実証されている。
 - 週16時間以上の場合、ないし“年齢×1時間”より多い場合は、けがの発生率が高いとの研究が複数ある（スポーツ庁の検討会議、2017年12月18日での報告）。体育の時間等も含む。
2. ハードな練習では、参加しづらい生徒や途中でやめる生徒もいるし、中高やりすぎて、その後はやめてしまう子も多い。
部活動のやりすぎは、生涯学習に逆行。
3. 「長くやればやるほどうまくなる」という考えは教職員にも、生徒にも、保護者にも強いが、それはスポーツ科学の知見からは否定されている。
4. 子どもの学習時間や友達や家族との時間、自由な時間などをもっと認めていく必要がある。
5. 教職員の負担の問題。教職員にとっても、部活動以外の時間、たとえば、家族との時間、ぼーっとする時間、自己研鑽する時間などは大切。

※ 2.4.5.などは文化部活動についても言える。

‘子供のためであればどんな長時間勤務も良しとする’という働き方は、教師という職の崇高な使命感から生まれるものであるが、その中で教師が疲弊していくのであれば、それは‘子供のため’にはならない。

教師のこれまでの働き方を見直し、教師が我が国の学校教育の蓄積と向かい合って自らの授業を磨くとともに日々の生活の質や教職人生を豊かにすることで、自らの人間性や創造性を高め、子供たちに対して効果的な教育活動を行うことができるようになることが学校における働き方改革の目的であり、そのことを常に原点としながら改革を進めていく必要がある。

校長、教頭からよく聞くお悩み

部活については、すごく生きがいになっている先生もいて、熱心に指導してくださっているんです。

その人のモチベーションを下げないようにしないといけませんし、練習量を減らしましょうとか、一部の休部などは、言い出しづらくて・・・。

あなたは、だれの、何を守ろうとしているのですか？

Why なぜ忙しい日々を変える必要があるのか

What なにをしていけばよいか

How どう進めるか（合意形成、決定、フォローアップ等）

全国の学校における

働き方 改革 事例集

令和5年3月改訂版



文部科学省

取組リンクリスト①

取組内容をクリックして、各詳細ページに移動することができます。

学習指導

① 教材研究や作成

[教材の共有](#)
p. 39 21.5時間

② 週案・指導案の作成

[週案や学校日誌の電子化](#)
p. 39 14.3時間

[週案・指導案の簡素化](#)
p. 40 14.3時間

③ 宿題やノート点検

[自主的な家庭学習への転換](#)
p. 43 66.7時間

[家庭学習のやり方の見直し](#)
p. 44 66.7時間

[家庭学習のオンライン提出](#)
p. 44 33.3時間

④ 授業で使用するプリント印刷

[紙ではなくデジタルで児童生徒へ配布](#)
p. 45 43.0時間

[PCから直接印刷](#)
p. 45 43.0時間

⑤ 教室・校内掲示

[掲示の精選](#)
p. 46 21.5時間

⑥ 学級日誌

[学級日誌の見直し](#)
p. 48 16.7時間

学習評価

① テスト作成・採点

[採点業務の外部サポート/分担](#)
p. 49 108時間

[採点システムの導入](#)
p. 49 25.0時間

[小テストの採点の自動化](#)
p. 50

[名簿への転記見直し](#)
p. 53 10.8時間

[小テスト中に採点](#)
p. 53 10.8時間

[採点期間の短縮](#)

② 通知表の作成・点検

[所見の見直し](#)
p. 54 30.0時間

[前期や1,2学期の所見の見直し](#)
p. 55 20.0時間

[二期制の採用](#)
p. 56

[押印欄の廃止](#)
p. 57 1.5時間

[家庭からの回収無し](#)
p. 57 0.5時間

生徒指導

① 給食指導

[担任以外による給食指導](#)
p. 58 25.0時間

[自動手指消毒器の導入](#)
p. 59 16.7時間

[制服の見直し](#)

進路指導・進路状況の調査

① 進路希望調査・進路先データの収集

[データ収集のWebアンケート化](#)
p. 61 3.0時間

② 大学とのやりとり

[メールの活用](#)
p. 62 10.8時間

[個別進路の外部連携](#)

教員業務支援員との協働の手引き
～みんなにとってより良い学校を目指して～



- ✓ 働き方改革が進まない深層は、
校長や教職員が事例を知らないこと
なのだろうか？
- ✓ 事例を探したり読んだりする時間もない
ほど忙しい、という側面はあろうが、
毎日そうなのか？
たんに優先度が低いというだけでは？
- ✓ 事例を知ったあと、本当に動き出すの？

Why なぜ忙しい日々を変える必要があるのか

What なにをしていけばよいか

How どう進めるか（合意形成、決定、フォローアップ等）

ポイント

1. 【同じ景色を見に行く】
教職員が（or 保護者やコミュニティ・スクール委員等も含めて）データを参照しながら、本当にこのままでいいのか、考える、対話する。
2. 【脱・ねばらない思考】
「それってなんのためだっけ？」という問い、疑問を大切に、固定観念を疑う。
3. 【チーム戦】
やってみよう、試行してみようという仲間を募って、一歩踏み出す。

1. 【同じ景色を見に行く】

どんな状況？
現状、実態を
「見える化」 (可視化)

どうする？

よいところは？
放っいけない問題は？
本当に子どものため
になってる？

どうしてこうなった？
個人的な要因、組織的な要因、
政策・制度的な要因など

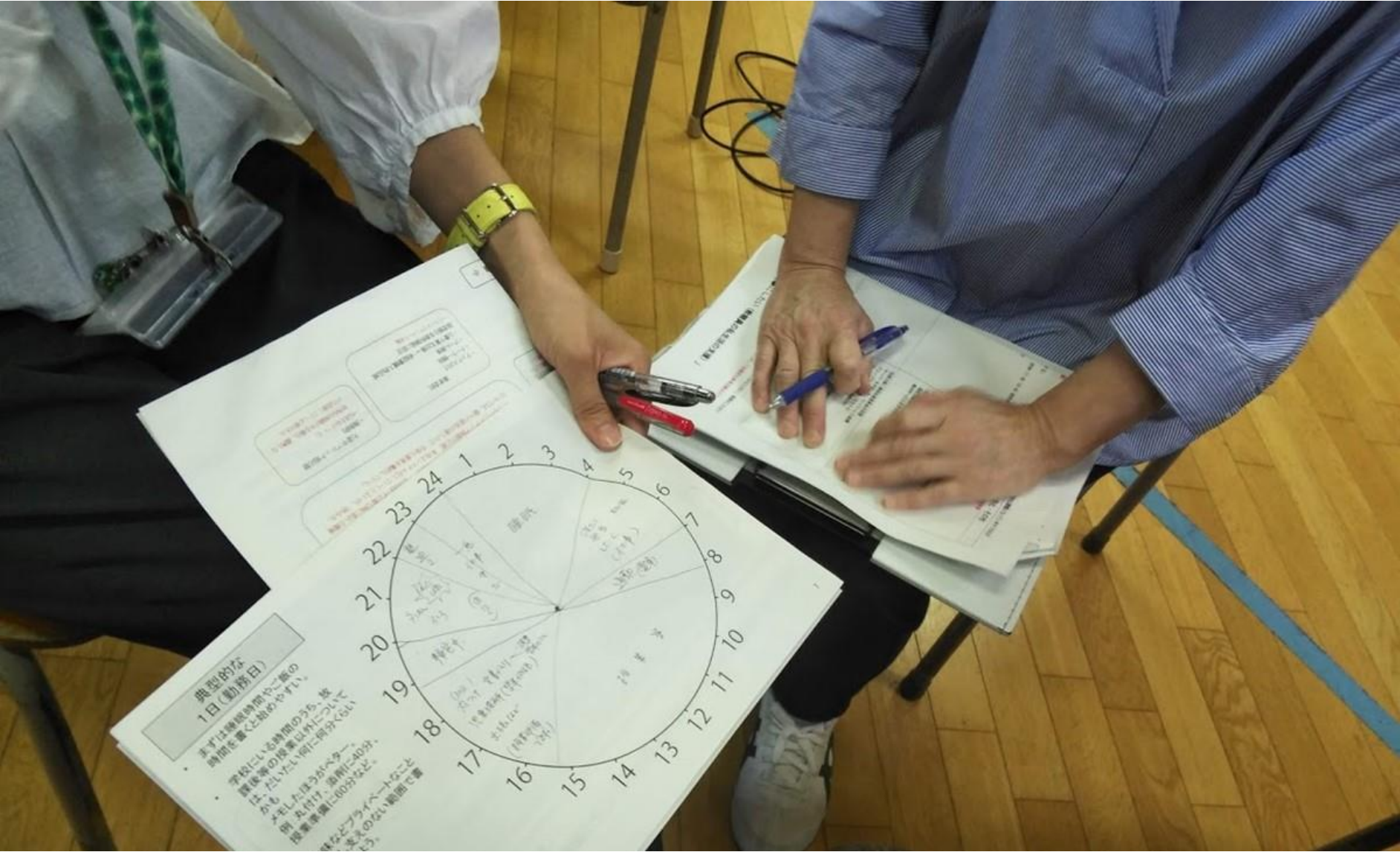
1. 【同じ景色を見に行く】

さまざまなデータや調査結果が活用できる。
たとえば、

- 出退勤記録
- 部活動の活動、出張状況
- ワークログ
(家計簿と同じ。何にどのくらい時間を使っていたか。)
- ストレスチェックの集団分析結果
- 教職員アンケート結果 (学校評価、年度末反省など)
- その自治体での休職者・離職者の状況

などなど

参考事例① 急がば回れ。



参考事例②

奈良県生駒市では、教頭の出勤から退勤までの全業務を分単位で記録する「シャドーイング調査」を実施。

右図はその一部。
早朝から解錠など施設管理業務があり、その後、書類確認や電話対応などがひっきりなしに入っており、集中して業務にあたることができな
いでいる。

別の中学校教頭は、9時過ぎから約1時間半の間に10回保護者対応（集金等）でさまざまな中断が入っていた。

A小学校の教頭 令和4年11月7日

時刻	場所	分類	業務内容	⑧
6:50	校門	②	出勤 校門の解錠	●
		②		●
6:55	校舎内	②	玄関の解錠	●
	職員室	②	職員室 印刷室等の解錠	●
7:00	校舎内	②	校舎内の解錠	●
		②		●
7:05		②	多目的室解錠	●
	体育館	②	体育館解錠	●
7:10	職員室	②	職員室の新聞準備	●
		②	施設開放日誌整理	●
7:15		①	校務支援システム確認（当日の日程）ホワイトボードに予定を転記	●
		①	校務支援システム確認（掲示版）	
7:20	職員室	①	予備PC配布・記録（職員）？	
		①		
7:25		①	書類確認（保護者対応）	
		①	書類確認（年休届け等）・職員対応①（PC関連）	
7:30		③	電話対応①（保護者・コロナ関連）	
		③	↓	
7:35		③	電話対応①コロナ書類作成・印刷	
		③	↓	
7:40		③	電話対応①コロナ書類整理	
		③	電話対応②（対保護者・児童の登校渋り）	
7:45		③	↓	
		③	電話対応②メモ作成・担任への伝達	
7:50		①	校長便り確認・校正①	
		③	電話対応③（保護者） 担任取次	
7:55		①	打合せ①（担当者・音楽発表会での動線の確認）	●
		①	打合せ②（担当者・物品確認）	▲
8:00		①	職員対応②（勤務時間の割振表確認） 打合せ③（担任・1年校外学習）	
		①	日程確認（学校菜園関連） 打合せ④（担当・体験入学について）	
8:05		②	瞬間接着剤の捜索（何か外れたと職員から訴えがあったような…）	
		③	電話対応③（保護者・欠席連絡）担任への伝達	
8:10		①	打合せ⑤（教務・体験入学について）	
		①		
8:15		①		
		①		
8:20		①		
		①		
8:25		①		
	1の4教室	②	欠席連絡伝達	▲
8:30	職員室	①	職員朝礼司会・連絡事項の記録	●
		①		●
8:35		④	打合せ⑥（育友会広報誌関連 ICT活用記事）学年代表に記事作成依頼	
		④	電話対応〇報告（校長・ について）登校渋りの件かと	

練習問題

- 7:30~8:15 授業準備、教室で生徒と会話
- 8:15~8:25 職員会議
- 8:25~8:35 朝読書の見守り
- 8:35~8:45 欠席連絡のなかった生徒の確認、
特別支援を要するAさんのフォロー
- 8:45~12:15 授業
- 12:15~12:25 給食・・・早食い
- 12:25~12:45 生徒と雑談しながら小テスト丸付け
- 12:45~13:00 プリント準備、印刷
- 13:00~13:40 生活ノート点検、コメント書き
-
- 16:30~18:00 部活動指導
- 18:00~19:00 去年のデータを探したあと(10分)
校務分掌の提案書類作成
- 19:00~20:00 Cさんの保護者から電話相談
- 20:00~20:10 休憩 カップ麺
- 20:10~21:00 翌日の授業準備
- 21:00 もう疲れた、帰る!

振り返り

2. 【脱・ねばらない思考】

たとえば・・・

- 子どもたちは頑張ったのだから、
通知表は毎学期所見を書かないと。
- 運動会で披露するダンスに期待している保護者も
多いから、やめられない。
- 部活は勤務時間外までかかるのは当たり前。

本当にそう？ なんのためだっけ？

ポイント

1. 【同じ景色を見に行く】
教職員が（or 保護者やコミュニティ・スクール委員等も含めて）データを参照しながら、本当にこのままでいいのか、考える、対話する。
2. 【脱・ねばらない思考】
「それってなんのためだっけ？」という問い、疑問を大切に、固定観念を疑う。
3. 【チーム戦】
やってみよう、試行してみようという仲間を募って、一歩踏み出す。

こちらもご活用ください。

掲載日：平成31年3月1日

校内研修シリーズ

学校における働き方改革 「先生が忙しすぎる」をあきらめない：校内研修シリーズ No.50

X ポスト

Facebook わけわけ



学校における働き方改革「先生が忙しすぎる」をあきらめない (文...



後で見る



共有

校内研修シリーズ

学校における働き方改革 「先生が忙しすぎる」をあきらめない

文部科学省 学校業務改善アドバイザー、
第9期中央教育審議会「学校における働き方改革
特別部会」委員

妹尾 昌俊



見る YouTube



独立行政法人教職員支援機構

ご相談などあれば、お気軽にどうぞ～。

妹尾昌俊 senoom879@gmail.com

全国各地の教育現場を訪れて講演、研修、
コンサルティングなどを手がけている。

政府の委員（中教審、部活動ガイドライン検討
会議など）や教育委員会のアドバイザーも務め
ている。

主な著書に『校長先生、教頭先生、そのお悩み
解決できます！』、『先生を、死なせない。』、
『教師崩壊』、『変わる学校、変わらない学
校』など。

5人の子育て中。



(注1) 文部科学省「公立学校教職員の人事行政状況調査」(令和4年度ほか)をもとに作成。

(注2) 文部科学省「教員勤務実態調査(2016年実施)」による。堀大介ほか「公立小学校教員の不眠症に関する業務時間分析」、『厚生指標』第68巻第6号2021年6月を参照。